

岩見沢市立幌向小学校



本校の沿革誌には、「明治31年に岩見沢尋常小学校の分校として開校し、明治37年に2学級編制の独立校として認可」とあります。まさに、未開の原野に鋤をおろし、苦難連続の厳しい生活の中、子どもへの教育へ目を向け、多大な労力によって幌向小学校の第一歩を踏み出したことが推察されます。その後、数回の校名変更を経て、幌向地区唯一の小学校として初等教育の役割を果たしてきました。かつては、幌向地区の大規模な宅地造成に伴い、児童数が大幅に増加、全校児童数が600名を超える時期もありましたが、現在は、やや減少傾向にあり、今年度の児童数は、238名となっています。（令和5年8月17日現在）

幌向小学校を取り巻く社会環境も大きく変貌をとげてきていますが、学校教育目標である「よく考える子」「明るくすなおな子」「元気でたくましい子」の育成を目指し、質の高い教育活動を積み重ねていくことに加え、岩見沢市が掲げる「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」が我々教職員に課せられた使命であると考えています。

令和の時代に入り、児童に1台タブレットが配布され、学習に活用する時代に入りました。令和の日本型学校の実現に向け、本校でも、「ロイロノート」「Google Classroom」「Zoom」などのアプリ活用を推進しています。また、令和4年度からスタートしたコミュニティ・エリアについて、学校運営協議会での熟議を通し、学校と地域・保護者の皆様が一体となった活動を推進してまいります。



学校キャラクター むいむい